

吊

辭

廣東省教育廳

廣東省立第一師範學校

吊辞

私が初めて貴殿に御目下懸心しましたのは
大東亜戦争が愈々苛烈となりました昭和
十八年末遼北方面ミェーギアのマコウリ
で御座いました、當時貴殿は陸軍主
計将校として補給殿に召集せられて御
勤務になっておりました、其頃此の方面の
戦況は東部ミェーギアに対する連合軍の反
攻が激しく、連日敵機の爆撃が有る中、
輸送船から軍需品の陸揚げ集積、第一線
への補給等の指揮に當られ、進駐早々の住
居、倉庫などの施設皆無の中で、雨に打たれ、
悪疫と聞い乍ら完全に任務を遂げられました。

或時は南部太平洋最大の激戦地となつた

ビアク島に敵上陸の直前業務指導等に

行かれる等身を挺しての努力には常々敬服

を致して居りました。其の後戦況愈々激烈

となり軍司令部及直轄の大部隊が補給

上の必要よりイドレ地方に移動しました際は、

貴殿は全く未開の地に補給基地を設ける為

先行せられ、追送糧食の無い土地で現地自活に

よつて軍の補給を全うする為、言語に絶する

苦勞を日夜續けられ、其の御努力は私

は軍司令官として潜に涙して感謝を致し

て居つたところでありました。特に其の補給が困難

となり部隊が餓餓線上を彷徨つた際は晝

間は連続敵機の警戒爆撃の為行動が
一切不可能となりました処、貴殿は勇躍自ら
未知の川や海を越えて舟艇や丸木舟を指揮
し夜間の航行として一週日以上もかかって糧食
を輸送し將兵を餓死から救はれ、軍司令官
より感状を差上げ、全軍に布告したことは今
も尚感激新たなるものがあります。千古奇
蹟と入川ない大密林地帯で陸上の行動
は困難であり、唯一のたよりは水路でありま
した。其の水路は幾つもの流川が錯綜して方
向すら判断がつかない中を、夜同身の危
険を顧みず任務を完遂せんとする責
任感によって、敢然として行はれた英雄的な

行動は將に將兵の龜鑑とすべきものがあり
ました、

九死に一生を得て内地に帰還後は、経済界
の重鎮として茶業職につかれて御多忙の中を
南溟の地に残した十萬の英霊を御迎え
する運動の先頭に立って、「私が生きて帰った
のは七き戦友の御蔭です、遺骨引揚
げ及慰霊の資金を大口で頼むことは容
易ですが夫れでは私は申訳ない苦心を
多くのひときに喜捨を御願して私自身が
苦勞しなけれはすまない」と言はれ、一人から
は百圓に限られ約四千人の多き方々の
協力を得られ、其の御努力力によって集った

金を基りて濠北方面の遺骨を引揚
げること促進し慰霊祭を挙行し

御遺族を慰問出来ないのであります。

濠北方面より生還者について貴殿は

先明であり又私共の企画する行事の推進

力でありました。今俄かに敬慕する大きな姿

を失い一同茫然自失の態で御座いま

すが、神に召されて昇天遊ばされ右御霊は

生死を共にした濠北會を見護り其の嚮

うべき処を明かにして下さること深く信じ

て居ります。

療養の地ミネソタにての御雄姿を思い、

又温容溢れるばかりの近日の係を愧が

思出はつきません、神の國を安らかに御
眠り遊あそびなますよう、謹んで御祈り申上
げます、濠洲北方面戦歿者慰霊會及
元第二軍将兵士代表として御別紙の言
葉と致します。

昭和三十四年十月二十六日

濠洲北方面戦歿者慰霊會会長

豊嶋房太郎